2025.11発行

工事広報

工期：令和7年3月11日～令和7年12月1日

令和6～7年度 八幡平山系赤倉沢第１砂防堰堤（えんてい）工事

今年もいよいよ最後の月を迎えようとしており、冷え込みの厳しい日が続いていますが皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしでしょうか。年末年始に向け多忙な時期となり慌ただしくなりますが、くれぐれもお体にはご留意なさってください。

さて、赤倉沢第１砂防堰堤工事は１１月１３日にコンクリートの最終打設を終え、今年度分の現場施工は完了となりました。現在は後片付け作業を行っております。皆様には工事期間中、工事車両の通行等で大変ご迷惑をお掛けしました。皆様の工事へのご理解とご協力により無事工事を終えることができましたことを感謝申し上げます。この工事での工事広報の配布は今回で最後となります。長い間お付き合いいただきありがとうございました。

１１月の主要作業　コンクリート堰堤本体工　施工の流れ

①型枠組立（残存化粧型枠）



残存化粧型枠は１枚あたり350kgの重量物であるためクレーンで吊り上げ移動します。



溶接作業により型枠を固定します。



型枠設置完了後、コンクリート打設準備にとりかかります。

②型枠内清掃



高圧洗浄により型枠内を清掃します。またコンクリートの打設面を湿潤状態にします。

③モルタル敷均し



古いコンクリートと新しいコンクリートの間にモルタルを敷き、密着性を高め一体化させます。

④コンクリート打設



コンクリートミキサー車からコンクリートバケットにコンクリートを下し、クレーンで型枠内に移動します。



コンクリートバケット内のコンクリートを型枠内に下ろします。



振動機械として高周波バイブレータを使用しコンクリートを締め固めます。

⑤打継目処理



高圧洗浄による圧力水でレイタンスを取り除きコンクリート面を粗にし清掃します。

⑥作業完了



ひと通りの作業が完了し、引き続き型枠の組立作業にとりかかりこれを何度も繰り返し作業を行います。

コンクリートの構成成分

コンクリートは主にセメント、水、骨材（細骨材、粗骨材）、混和材料から作られています。

・セメント	コンクリートの結合剤として他の成分を固める役割をします。
・水	セメントと科学反応を起こし硬化させます。
・骨材（粗骨材）	粒径が5mm以上の砂利などが含まれ、コンクリートの強度を高めます。
・骨材（細骨材）	粒径が5mm未満の砂（砂利）で、コンクリートの密度や強度を高めます。
・混和剤	コンクリートの特性を調整し耐久性や作業性を向上させます。

レイタンスとは？



コンクリート打設後に見られる脆弱な薄い泥膜層のことを言います。この層はセメントや骨材の微粒子などがブリーディング水とともにコンクリートの表面に浮き上がり堆積することによって発生します。

レイタンスがコンクリート表面に残っていると、別のコンクリートを打ち継いだ際にコンクリート同士の結合が妨げられ、ひび割れや強度の低下、漏水等の原因となります。そのためコンクリート打設を行うたび、レイタンスを取り除くことが必要となります。

ブリーディングとは？

ブリーディングとは、コンクリートを打設した後に水分が表面に浮き上がる現象のことを言います。ブリーディングの原因は、コンクリートを構成する水よりもセメント・骨材が重いために生じます。



クマに注意

１２月はクマの出没が少なくなる時期ですが、近年では冬眠をしない個体が確認されており引き続き注意が必要です。

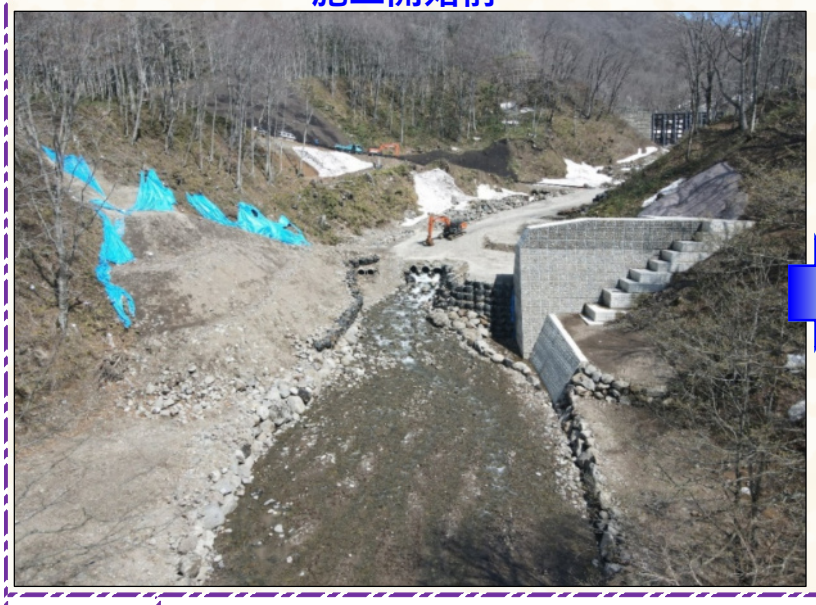
熊との遭遇を防ぐためには

・薄暗い時間帯の山道や森近くでの行動を避ける。
・外では音を鳴らしながら歩き存在を知らせる。
・屋外に食べ物や、食べ物の容器、ゴミを放置しない。

熊と遭遇したときにやってはいけないこと

・クマに背を向けて逃げる。走って逃げる。
（本能的に追いかけてきます）
・大声で叫ぶ。クラクションを鳴らす。
（威嚇と捉えられクマを興奮させてしまいます）
・子クマに近づいたり写真を撮らない。
（近くに母クマが近くにいて子を守ろうとし攻撃的になります）

施工開始前



施工完了後



連絡先

②角館

受注者
万六建設株式会社
現場代理人　金谷晃一
監理技術者　浅沼優司
TEL 0187-43-1554

発注者
東北地方整備局 湯沢河川国道事務所
秋田駒ヶ岳山系砂防出張所
国土交通省
TEL 0187-46-2681